

平成28年度予算見積調書

課室名：保健体育課
 担当名：健康教育担当
 内線：6963

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B77	学校環境衛生対策費			一般会計	教育費	保健体育費	学校保健連絡調整費	学校環境整備推進費	
事業期間	平成 9年度～	根拠法令	学校保健安全法 建築物における衛生的環境の確保に関する法律			戦略項目	06 時代に応え未来を拓く人材育成		
						分野施策	020103 子どもたちの健やかな体の育成		
1 事業概要	学校施設に起因する化学物質等による児童生徒及び教職員の健康を守るため、学校環境衛生の維持管理に必要な対策を講じる。 (1) レジオネラ菌対策 707千円 (2) 建築物環境衛生管理技術者の養成 380千円 (3) 建築物環境衛生管理技術者の管理指導 112千円 (4) 建築物環境衛生管理技術者の委託 10,053千円			5 事業説明 (1) 事業内容 ア レジオネラ菌対策 707千円 県立学校の児童生徒等のレジオネラ菌感染による健康被害(肺炎)を防止するため、レジオネラ菌が繁殖する冷却塔(クーリングタワー)の冷却水の適正な水質管理を行う。 イ 建築物環境衛生管理技術者の養成 380千円 「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」で規定されている「特定建築物」である学校を管理する「建築物環境衛生管理技術者」を職員の中で養成する。 ウ 建築物環境衛生管理技術者の管理指導 112千円 「特定建築物」である学校等の衛生的な環境の確保を図る(対象施設：79施設)。 エ 建築物環境衛生管理技術者の委託 10,053千円 79施設のうち、建築物環境衛生管理技術者である県職員を配置できない施設について、建築物環境衛生管理技術者の配置等を委託により実施する。 (2) 事業計画 ア 冷却塔(クーリングタワー)の冷却水の水質管理及びレジオネラ菌検査を行う。 イ 建築物衛生管理技術者の養成を行う。 ウ 建築物における衛生的環境の確保に関する法律に基づき、建築物衛生管理技術者が兼務している施設へ出張し当該施設の衛生管理及び指導を行う。(1施設あたり年2回) エ 建築物環境衛生管理技術者である県職員を配置できない施設について、建築物環境衛生管理技術者を委託等により配置する。 (3) 事業効果 ア クーリングタワーを循環する水にレジオネラ菌が発生しないように塩素消毒をすることにより、レジオネラ菌による感染症患者の発生を未然に防ぐ。 イ 教育局に勤務する学校事務職員のうち、この技術者になってよいと希望した職員に対して公益財団法人日本建築衛生管理教育センターが実施する建築物衛生管理技術者講習会を受講し、技術者を養成する。 ウ 該当する特定建築物の衛生管理が充実される。 (4) その他 建築物環境衛生管理技術者の委託に伴う増額					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.1人=950千円									
				財 源 内 訳					
予算額								一般財源	前年との対比
決定額	11,252							11,252	10,280
前年額	972							972	